

うつかりと妻の地雷を踏みトホホ

ゴミ出す日ついでに愚痴も入れておく

靴の中小さな石の存在感

早くから予約をしても花はなく

暗い過去消して人生今が旬

デザートに別腹騒ぐ食事あと

基 弘

ジプシーにならずば銃を持たされる
プーチンに線香花火贈りたく
巣立つ子へ母のスマホが纏いつく
へそ曲げた頑固おやじの背のやつれ
毛並みゆえ生涯クロで過ごす猫
滑り落ち辺り窺うミケのひげ

こんなにも温かさ知る夫伏し

元気なら何もいらないバースデー
愛と哀背中合わせで握手せず
手に入らぬ普通であるという宝
染めたのか染められたのか半世紀
もう一度お百度を踏む両の足

義 雄

防災具何揃えるか相談中
立ち飲みの世間話で世相みる
四面楚歌孤高の知事の心中は
人間も柔軟入れてまろやかに
藤井君勝つて謙虚はすばらしい
総裁選元気だけでは困ります

乃り子

友に会い愉快爽快おしゃべり日
風が吹くバラ園の中花吹雪
体操し今日も元気で笑顔の日
便利でもスマホにあるよ落とし穴
喧嘩して声を出さずに捨て台詞
山登り普段は着ない赤い服

純 一

おトイレは立つてするなど言つたはず
面取りはしないせさない冷奴
スキンヘッド引くに引けないうしろ髪
けりをつけ丸い小石を置いておく
けんけんの体重計はそのまんま
毒舌が効を奏して皆元気

ちさと

次はロス年号二度見私古希
バスの旅おしゃべりつきずまた行こね
山の上残念白い雲のなか
アビーロードまねして歩くファンの道
メダカ鉢アシナガ達が運ぶ水
この夏はパリの時間で過ごす日々

ミ チ

スマホ忘れ支払いできず鍵開かず
古稀過ぎて筋肉貯筋底を突き
法作る人が挙つて法破り
鏡見るしみ取り塗った次の朝
続けざま歌う上司の予約消し
夫婦で食い違う馴れ初めの経緯

健 一

涼しくなつて人出の増えた散歩道
エアコンを止めて網戸の心地よさ
えらいこつちやいそかわさんに米が無い
三世代同居ストレスてんこ盛り
ペナントレース大詰め痛い今日の負け
総裁候補作り笑顔がぎこちない

アキラ

蕗味噌の苦み甘みのさじ加減
菜の花の黄色は明日へのエール
炎天の砂丘を海の見えるまで
お互に補い合っている記憶
ごめんなさいあつさり言われ波静か
一日の無事を感謝し聴くバツハ

郁 子

何度も頷いてやる手を握る
名月も今年はビール冷奴
熱風をかきまわしてのサルスベリ
ソーメンが三日に一度顔を出す
お帰りなさい冷凍庫から出すグラス
がつかりに慣れてダメージ軽くなる

広 子

係累と過去を経つても秋の風
人間のタンをエンマがレアに焼く
イエスノー言わずしばしうす笑い
アルバムの中に若さが氷漬け
目がこねる魚眼レンズのセミヌード
終活にひそひそ声のエンマ様

正 清

可哀そう犬は真冬と同じなり

尻尾巻き犬も怯える稻光
カツトされ売られる西瓜無念そう
かき氷食べながら聞く寺の鐘
七十の手習いまたも英会話
老いひとり庭で線香花火する

新米はやつぱり旨い二杯目も
少しだけ優しくなれば楽になる
やること為すこと全て中途半端
幸せは自分次第と教えられ
ありがとう思う心は赤子にも
昔なら誰もが使う肥後守

白良浜地震台風泣きつ面
総裁選そろりぞろりと顔ならぶ
朝だけはチラリと秋の気配あり
大谷の活躍しだい夜メニュー
取りあえず熱い悩みはそつと置く
ラーメンは野菜多めのあつさりで
秋の気配一ミリもない暑さだけ
まだまだの暑さ覚悟で秋を待つ
一日草けなげに咲いて癒される
息切れる前に休憩深呼吸
お互いに許す気になり平和な日
長生きも適當がいいねえ貴方

英二

お題「あつさり」奥村義雄選

佳 人生相談あんさん別れなはれだと アキラ
佳 ごめんなさいあつさり言われ波静か 郁子
佳 断捨離とあつさり捨ててまた拾う 純一
佳 ややこしい付き合いは嫌シンプルに えいじ
秀 号泣が済んだらロスへまつしぐら 千楽

えいじ

節約も命がけですこの暑さ
貯めたとて持つては行けぬあちらへは 健一
半額のシールを狙いスタンバイ
モヤシに竹輪料理の腕の見せ所
残暑あり美味しいビールまだ飲める
目を閉じて金木犀の曲がり角
心ない言葉ささつて貝になる

今夜こそそろそろ食べな捨てる羽目
間に合った友に最後の礼をいう
着たものの容易に脱げぬ試着室

哲子

十月十日（木）十四時三十分（ ふれあい一階
勉強会 「晴れる」二句 前日までに事前投句
参加者の互選と義雄さんの選 投句のみも歓迎

十月七日（月）十三時（ いきいきホール一階
「よもやま話の会」 *ご希望の方は参加下さい

健一 哲子

正清一

えいじ

きよな

勉強会 お題「あつさり」 互選 数字は票数

3 人生相談あんさん別れなはれだと

糠漬けの水ナス猛暑払い除け

号泣が済んだらロスへまつしぐら

ややこしい付き合いは嫌シンプルに

あつさりと認めぬ知事の記憶なし

4 自分の非認め他人の非は責めぬ

6 骨董品あつさり値引き偽物か

熟慮よりもあつさりと出た良い言葉

8 ごめんなさいあつさり言われ波静か
断捨離とあつさり捨ててまた拾う

お問合せ

原 広子（79・0061）

野々村アキラ（090・6961・1292）

十月二十九日（火）	いきいきホール二階
十三時開始	「無駄」互選
「米」（連記）	ミチ 「話す」健一
「びつくり」（共選）	郁子 幸男 各二句
自由吟アキラ 四句	「推薦十句」千楽
十月二十五日（金）	一五時迄にアキラまで投句

喜怒哀樂、日々の想いを五七五で詠んでいます
入会金無し 会費月百円

興味のある方はお電話ください